

# 調 査 書

宮城県立光明支援学校

				受検 番号	* 番	
本人氏名	光明太郎	性別	(男)女		生年月日	昭和 (平成)17年〇〇月〇〇日生
保護者 (又は保証人)氏名	光明一郎	職業	会社員		本人との続柄	父
現住所	〒(980-〇〇〇〇) 仙台市〇区〇〇〇〇〇-〇-〇 電話番号(022)〇〇〇-〇〇〇〇					
在学(出身)学校	〇〇〇立〇〇〇〇〇〇学校	所在地	〒(980-〇〇〇〇) 仙台市〇区〇〇〇〇-〇			
中学校在学(出身)者 所属学級	(特別支援学級), 通常学級 障害種(知的障害)		電話			
障害・疾病等	知的障害, 自閉症					
手帳の有無	療育手帳	身体障害者手帳		精神障害者保健福祉手帳		
	A・(B)・なし	級 種 ・ (なし)		1級・2級・3級・(なし)		
心理・発達検査等	実施年月	検 査 名	検査機関名・検査者名		結 果 等	
	できるだけ、外部の専門機関で検査した結果を記入する。			検査機関は、外部の専門機関 検査者名は、フルネームで		
学 習 の 記 録	教科等	学 習 の 状 況				
	日常生活の指導					
	自立活動					
	生活単元学習 (班別)					
	生活単元学習 (学級)					
	国語・数学					
	作業学習					
	音楽					
	保健体育					
総合的な 学習の時間						
特別活動等の記録						
1学期学級委員として、あいさつ運動を喜んで行った。修学旅行では、落ち着いて集団行動をとることができ、楽しんで活動している様子が見られた。						

ここの記入は、**中学校の生徒のみ**。  
特別支援学校中学部の生徒(出身者  
も含む)は、記入しない。

指導している教科等ごとに簡潔に記入する。

- ・できることは何か。
- ・どんな指導をして何ができるようになってきているのか。
- ・現在、どんな課題に取り組んでいるのか。

例えば、

- ・名前を呼ぶと「はい」と返事をする事ができる。
- ・音楽が流れると鈴やタンブリンを鳴らすことができる。
- ・柔軟性を維持するためにストレッチ運動を行っている。
- ・絵カードや写真カードを利用したコミュニケーションの伝達学習をしている。

注1 \*の欄は記入しない。なお、教科等の欄は貴校で実施している教科並びに指導の形態名を記入する。  
注2 パソコンで作成する場合にはこの様式にのっとる。ただし、左側余白を25mmとり両面印刷とする。

受検 番号	*	番	本人 氏名		食事, 排せつ, 衣服の着脱, 睡眠などについて簡潔に記入
発 達 の 様 子	基本的な生活習慣	衣服の着脱では, 前後や裏表を間違えることはあるもののほぼ自立している。食事については, スプーンを口に運ぼうとする動作は見られるものの介助が必要である。			
	運動能力	姿勢保持, 移動, 上下肢の動き, 歩・走・跳の動き, ボール運動, 水泳, 器械運動などについて簡潔に記入			
	手指機能	握る動作, つまむ動作, 両手の動き, 興味ある物への反応や, 手先の器用さ (紙, はさみ, 刺し子, ボルト, くぎ打ち, タオル, はし等) などについて簡潔に記入			
	言語理解	呼名, 呼び掛け, 問い掛けなどに対する反応, 日常生活での様子, 指示に対する反応, 意思表示などについて簡潔に記入			
	社会性	友達や教師とのかかわり, 集団参加などについて簡潔に記入			
現 在 の 状 況	=性格や行動の特徴= 性格 (明朗, 温厚等), 喜怒哀楽の表情, 緊張の状態, 情緒の安定, こだわり, 興味や関心, 意欲, 見通しなど				
	=健康面で配慮しなければならないこと= 特になければ, 「特になし」と記入する。 個別の教育支援計画を参照する。				
	=家庭の教育によせる関心= ・学校教育に親の願い, 卒業後の進路に対する保護者の希望, 学校に対する協力, 行事や面談等に対する参加度合いなどを簡潔に記入 (個別の教育支援計画を一部参照すること)				
出欠の記録 (令和2年12月11日現在)				=その他の特記事項= ・就学中の転 (編) 入学について 平成〇年〇月〇日 ○〇立〇〇〇〇学校から ○学年に転入 ・進路に関すること ・その他	
	授業 日数	欠席 日数	忌引き 等日数	出席 日数	何もない場合には, 「なし」と記入する。
1年					・「本校高等部への進学を希望している。」 ・「高等部卒業後は, ……」 * 2つの項目について記入する。
2年					
3年					何もない場合には, 「なし」と記入する。

学校名

記載者名

印

校長名

職 印

どちらの印も忘れずに。